

鷹栖町図書室に新しく入った本 (7月分より)

☆新しく入った本は他にもございます。図書室では新着図書のリストを配布しております。また、鷹栖町図書室の蔵書検索から探すこともできます。



たかす(一般)

『魔女の後悔』(大沢在昌/文藝春秋)  
『T/S』(藤田貴大/筑摩書房)

- 『二人目の私が夜歩く』(辻堂ゆめ/中央公論新社)
- 『花と夢』(ツェリン・ヤンキー/春秋社)
- 『ハコウマに乗って』(西川美和/文藝春秋)
- 『Z世代に嫌われる上司嫌われない上司』(加藤京子/ぱる出版)
- 『和算からベルヌーイ数へと続く数の世界』(小林吹代/技術評論社)
- 『京大地理学者、なにを調べに辺境へ?』(水野一晴/ペレ出版)
- 『新レゴアイデアブック』(HANNAH DOLAN/東京書籍)

たかす(児童)

『しごとのどうぐ』(三浦太郎/偕成社)  
『みちくさ』(さとうわきこ/偕成社)

- 『どんなトミカ?』(つむぱぱ/講談社)
- 『イチゴはだれにもあげないよ』(アイン・マイヤ・メッツォラ/化学同人)
- 『再会の日に』(中山聖子/岩崎書店)
- 『いっしょに翻訳してみない?』(越前敏弥/河出書房新社)

きたの(一般)

『マネーモンスター』(黒木亮/幻冬舎)  
『ブンバップ』(川村有史/書肆侃侃房)

- 『この窓の向こうのあなたへ』(小手毬るい/出版芸術社)
- 『マンガって何?』(青幻舎)
- 『娘が妊娠したら知りたい50のこと』(棒田明子/イースト・プレス)
- 『北の大地に輝く命』(柳川久/東京大学出版会)
- 『バッタを倒すぜアフリカで』(前野ウルド浩太郎/光文社)

きたの(児童)

『戦争は、』(アンドレ・レトリア/岩波書店)  
『チョコレート女王さま』(ラウラ・カラタン/あかつき教育図書)

- 『パンダのおさじとふりかけパンダ』(柴田ケイコ/ポプラ社)
- 『シンデレラのおねえさん』(おくはらゆめ/光村図書出版)
- 『コロコロドミノ装置だいでずかん』(野出正和/いかだ社)

- 『愚か者の石』(河崎秋子/小学館)
- 『娘が巣立つ朝』(伊吹有喜/文藝春秋)
- 『失踪願望。続』(椎名誠/集英社)
- 『ハルビン』(キムフン/新潮社)
- 『スマホ社会と紙の本』(高橋文夫/論創社)
- 『サプリメント図鑑』(日本サプリメント協会/マイナビ出版)
- 『自宅で楽しむバードライフ』(藤井幹/文一総合出版)

- 『いつかまたあおうね』(スージー・リー/偕成社)
- 『できあがり』(彦坂有紀/福音館書店)
- 『きょうはだれのおたんじょうび?』(前田まゆみ/パイインターナショナル)
- 『おくれてきた名探偵』(杉山亮/偕成社)
- 『おばあちゃんがヤバすぎる!』(エンマ・カーリンストッテル/静山社)
- 『中高生のための小説のつくりかた』(メイツユニバーサルコンテンツ)

- 『クスノキの女神』(東野圭吾/実業之日本社)
- 『羅刹国通信』(津原泰水/東京創元社)
- 『ペルーからきた私の娘』(藤本和子/晶文社)
- 『小さくも重要ないくつもの場面』(シルヴィー・ジェルマン/白水社)
- 『事件報道の裏側』(三枝玄太郎/東洋経済新報社)
- 『不登校の9割は親が解決できる』(小川涼太郎/PHP研究所)
- 『体にやさしいひんやりおやつ』(今井ようこ/誠文堂新光社)

- 『もし、世界にわたしがいなかったら』(アンナ・フォルラティ/西村書店)
- 『まーくんのあめのひ』(みかみえみ/日本標準)
- 『ねがいの木』(岡田淳/BL出版)
- 『すごすぎる絵画の図鑑』(青い日記帳/KADOKAWA)
- 『ネットはなぜいつも揉めているのか』(津田正太郎/筑摩書房) ほか

～鷹栖町図書室の本はふるさとまちづくり応援寄附事業の寄附金を活用して購入しています～



図書室だより

8月10日(土)に夏のおたのしみ会「夏の夜のこわ～い話と肝だめし」を開催します!一昨年に行って大好評だった肝だめしがパワーアップ(?)して帰って参りました。(7/28より申込み受付開始。定員40名)また、8月25日(日)には方言講座「“ことば”について語ろう」も!今月は第2回目。(申込み不要、定員なし)お楽しみに!



7月の本棚リレーは 渉里美苗さんでした。



「音楽のある図書室」は じゅんきさんのギターとうたでした。(写真はケストのめいさんと)

